

いのち 「生命のがん教育」のご案内

～令和7年度実施校を募集します～
(実施校は累計約850校です！)



「副読本」

大切な方と一緒に
ご覧下さい。

医師等が易しく丁寧に解説し、
経験者が生命の大切さを語り、
ともに考えます。

京都府独自の副読本を受講者全
員にお渡ししています。

いま、なぜ「がん教育」なのでしょう

日本人の2人に1人が一生のうちにがんになるといわれており、死亡原因の第1位もがんです。がんは私たちにとって大変身近な病気です。

しかし、多くのがんは、生活習慣を改善することで予防できます。近年はウイルスや細菌の感染が原因とされるがんがあることも分かり、適切な予防と治療でがんの罹患を防ぐことができます。

また、医療の進歩により、がんになっても、早くみつけて適切な治療をすることで、普段の生活に戻れるようにもなりました。

がんのことを正しく学び、自分に何ができるかを考えて、がんという病気と向き合うことが大切です。

京都府健康福祉部健康対策課

いのち 「生命のがん教育」の主な内容

教育における視点（小児がんは取り扱いません。）

- がんに関する正しい知識の定着・普及
- 児童生徒を中心に家族で取り組むがん予防の実現
- 健康的な生活習慣の習得
- 早期発見・早期治療の重要性の認識
- 周囲の支えなどの必要性の認識
- 自他の健康と命の大切さの理解

教育のねらい

がんの発生メカニズムを学習する事によって、がんは誰でもなる可能性があることを理解し、正しく向き合う意志を育む。

がんは、たばこやお酒、食事や運動など日常の生活習慣と関わりが深いことを知り、家族と共にがん予防に努める態度を育む。

がんは100%予防することは不可能であることから、症状が出る前に発見し治療する「がん検診」の意義を理解し、実行力を育む。

がん経験者の体験談から自他の健康と命の大切さに気づき、共に生きる社会づくりを目指す態度を育む。

教育の効果

- 医師が白衣を着用し、分かりやすいスライドを用いて専門用語を使わず易しく丁寧に講義をするので理解しやすいと評価されている。
- たばこが何にもまして発がん率を高めることを理解することにより、禁煙の重要性と受動喫煙の危険性に対する認識が深まると評価されている。
- がん経験者の具体的な体験談により、家族や友人等の大切な人たちの存在を再認識し、感謝や思いやりの気持ちを高めることが出来ると評価されている。
- 保護者が参観した学校では、学習内容が家庭でも話題となり、家族で内容を深めることができたと評価されている。

授業の流れと主な内容（例：50 分授業）

※授業時間の長短や保護者参観としての実施など、調整は可能です。

担当者	時間	主な内容
授業担当者	短時間	動機づけと紹介
医療従事者の講義 	25 分程度	【がんについての講義】 ◎がんに関する基礎知識 ・がんのできるメカニズム ・がんは死亡原因の第1位 ・遺伝や感染 ◎がんの予防について ・がんになりにくい生活習慣 ・喫煙・受動喫煙とがんの関係 ◎がん検診について ・早期発見、早期治療の重要性
授業担当者	短時間	つなぎ
がん経験者の体験談 	20 分程度	【がん闘病の体験談】 ◎がんの発病(発見)について ◎治療について ◎周囲とのかかわり ◎伝えたいメッセージ
授業担当者	短時間	質疑応答（質問はこの機会のみ）

○がん経験者の闘病体験談（授業の中での紹介例）

私は 20 年程前から乳房に異変があり、その経過観察の為に毎年、エコー検査とマンモグラフィー検査を受けていました。そこで気になる所見が見つかり、更に詳しい検査をすると、左乳房にがんがあることが分かりました。

しばらくの間、乳房温存か全摘か悩んだ末に、左乳房全摘手術を受ける事に決めました。術後しばらくは痛みで左腕をうまく動かせませんでしたが、毎日コツコツとリハビリを継続することにより、少しずつ元の動きが出来る様になりました。

入院中はたくさんの方がお見舞いに来てくれ、私を励まし、元気づけてくれました。また、LINE や電話で、1 人暮らしの私をいつも気に掛けてくれました。

退院後から服薬と注射の治療を 5 年間継続しました。副作用とも工夫をして上手に付き合いました。そして、現在は経過観察となり、半年に 1 回通院しています。

がんと告知されてから治療方針が決まるまでの間、日々前向きに、楽しい気持ちで過ごそうと思っても、恐怖心は常に私についてまわりました。その中でどうしようもなくなった時に、私を励まし、元気づけ、手を差し伸べ、助けてくれたのが、私の人生に関わってくれている全ての人達です。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。がんになってもひとりぼっちではありません。これらのことを皆さんにお伝えしていきたいです。



○授業実施後の児童・生徒の感想

【小学校】

- ・いろいろなことをして予防してもがんにはなるかも知れない。でも、お酒やたばこに気をつけたり、規則正しい生活や食事をすれば、予防できるということを学んだから、このようなことに気をつけていきたい。

【中学校】

- ・私は子宮頸がんワクチンを2回のうち1回すでに打っていて改めて打ってよかったと思えました。後もう1回打たなければならないと、とても憂鬱だったけど今日の授業で生きるためだと考えることで前向きになりました。

【高等学校】

- ・この授業を受ける前はがんなんてかからないだろうと思っていたけど授業を通して、2人に1人かかると言われて、自分もがんになる可能性があるんだなと思いました。がん検診が受けられるようになったら受けてみたいし、親とかにも受けてもらいたいなと思いました。

【支援学校】

- ・今日の授業を受けて、がんは誰もがなる可能性があるかと改めて知ることができて良かったです。バランスの良い食事、適切な休養や睡眠を意識して、生活をしていきます。今日学んだことを自分の大切な人に伝え、がんについて真剣に考えたいです。

○授業実施後の教職員の感想

【小学校】

- ・がんについての講義はとても分かりやすく、かつ、保健の授業で取り扱うよりも少し詳しい内容になっていて、とても勉強になりました。子どもたちからの質問にも、専門的な立場で子どもに分かりやすく説明してくださり、子供たちの目線で取り組めそうなことを伝えてくださったのが良かったです。

【中学校】

- ・「がんは2人に1人がかかる病気」という現状を知って、他人事ではないと感じた生徒が多かった。さらにがん予防のための健康的な生活を送ること、検診を受けて早期にがんを発見すること等、今後の行動について考えた感想も多かった。また、経験者の体験談からは、闘病中の人にとって周囲の人たちの支えが大きな励みになることを知り、自分に何ができるのかを考えた生徒もいた。

【高等学校】

- ・母親をがんで亡くしたので「がんは憎い」という話で講義を始めていただき、気持ちが引き付けられた。また、生徒に質問をしながら話を進めていただき、分かりやすい講義だった。がんを身近な疾患としてとらえ、予防や検診の大切さを学ぶことができた。また、命や健康の大切さ、支えてくれる人への感謝の気持ちが伝わり、互いに支え合って生きていくことの大切さについて考える機会になった。

【支援学校】

- ・専門的な立場から大変分かりやすく噛み砕いて講義してくださり、正しく理解し深い学びに繋がりました。初めは質問などが出るか不安でしたが、そのようなことが杞憂だったくらいの活発な質問や感想が出てきました。

生命のがん教育実施校募集！

授業の実施を希望される学校は、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先：京都府健康対策課 075-414-4973

より詳しい情報は[京都府のホームページ（生命のがん教育）](#)をご覧ください。